

ライフスタイル

この夏の省エネ総点検



家電製品

上手に使って賢く省エネ

たくさんエネルギー消費を支えられている私たちの暮らし……しかし、エネルギーには限りがあり、地球温暖化など環境への悪影響も現れています。1年間のうちで最も電力の消費が多い8月……いま必要なのは家族でライフスタイルを見直し、省エネルギーを図ることです。家族みんなで省エネルギーに取り組むことで、資源の節約、イコール家計の節約にもつながるのです。ちょっとした工夫による省エネルギーのポイントについてアドバイスしますので、この夏からでも省エネルギーの総点検を始めませんか。

家庭内で最も電気を消費する家電製品は何かご存じですか？

- 第1位 エアコン
 - 第2位 冷蔵庫
 - 第3位 照明器具
 - 第4位 テレビ
- 資源エネルギー庁の「電力需給の概要」によると、家庭でかかる電気代の上位4つは

の順となっています。よりエネルギーを使う機器について常に省エネに心がければ、その効果も抜群です。

そこで、省エネルギーにつながるこれら家電製品の上手な使い方のポイントやアイデアをあげてみました。

エアコン

家電製品で最も電気を消費するのがエアコンですが、設定温度を1度変えただけでもその省エネ効果は大きいものです。

また、省エネ基準達成率108

度)です。消費電力が少ない除湿運転(ドライ機能)も活用しましょう。

▼風向きの調整で効果的に送風口の風向き板を使って、効率的な冷房をしましょう。冷房時は送風を上向きにする

と、室内の空気がうまく循環します。(暖房時は下向きに)▼フィルター掃除はこまめにエアフィルターにはこりが詰まると、空気の流れが悪くなって効率が落ちます。2週間に一度は掃除することを心がけましょう。

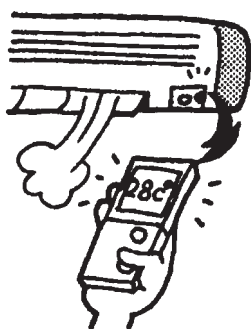
▼室外機は風通しのいい所にエアコンの室外機は風通しのいい所に置きましょう。また、日よけをするなど直射日光が当たらない工夫も大切です。排気口の前に障害物があったり、室外機が熱をもったりすると効率が落ちます。

このように、省エネに配慮した家電製品に買い替えたほうが、エネルギーの節約になるとともに、家計にもやさしいケースが多くあります。

▼【節約のポイント】
控えめが省エネ&ヘルシー

室内の冷やし過ぎは、エネルギーの無駄遣いになるばかりか、身体にもよくありません。

エアコン使用中は、設定温度のこまめな調整が大切で、冷房は28度が適温(暖房は20



家族で見直し

始めよう、

冷蔵庫

家電製品で最も電気を消費する第2位にあげられているのが冷蔵庫ですが、近年は冷蔵庫も省エネ対策が進んでいます。

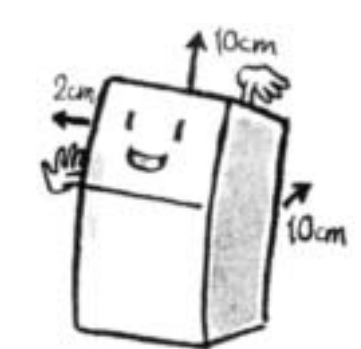
例えば、冷蔵庫1リットルあたりの年間消費電力は、昭和56年に2・76キロワットアワーであったが、平成13年には0・75キロワットアワーで、20年間で約3分の1以下と進化しています。冷蔵庫もエアコン同様、新しいものや省エネに配慮したものに買い替えたほうが、エネルギーの節約になります。



【節約のポイント】

- ▼開閉は少なく、早く
冷蔵庫を開けるたびに外の暖気が入り込み、冷却に電力を多く使います。開閉はなるべく少なく、早くするよう心がけましょう。なお、暖気の入り込み防止のため、最近では冷蔵庫内とドアとの間に吊るすカーテンなども市販されています。
- ▼詰め込み過ぎに注意を
食品を詰め込み過ぎると、

冷気の流れが悪くなります。例えば、標準の2倍詰め込むと電力が1割余計にかかります。



- ▼熱いものは冷ましてから
熱いものは冷ましてから入れないと、消費電力量がアップします。
- ▼季節に合わせて適温調整
食品の入れ具合に応じて、設定温度をこまめに調節しましょう。

- ▼設置は風通しのよい所に
冷蔵庫の設置は直射日光や暖房を避け、風通しのよい所に置きましょう。また、「後ろぴったりタイプ」の冷蔵庫

- ▼パッキンに注意
ドアのパッキンが破損していると、電気の無駄になります。ドアの間に紙をはさみ、ずり落ちるようなら交換が必要です。



開けなくても分かる 冷蔵庫の在庫メモ

